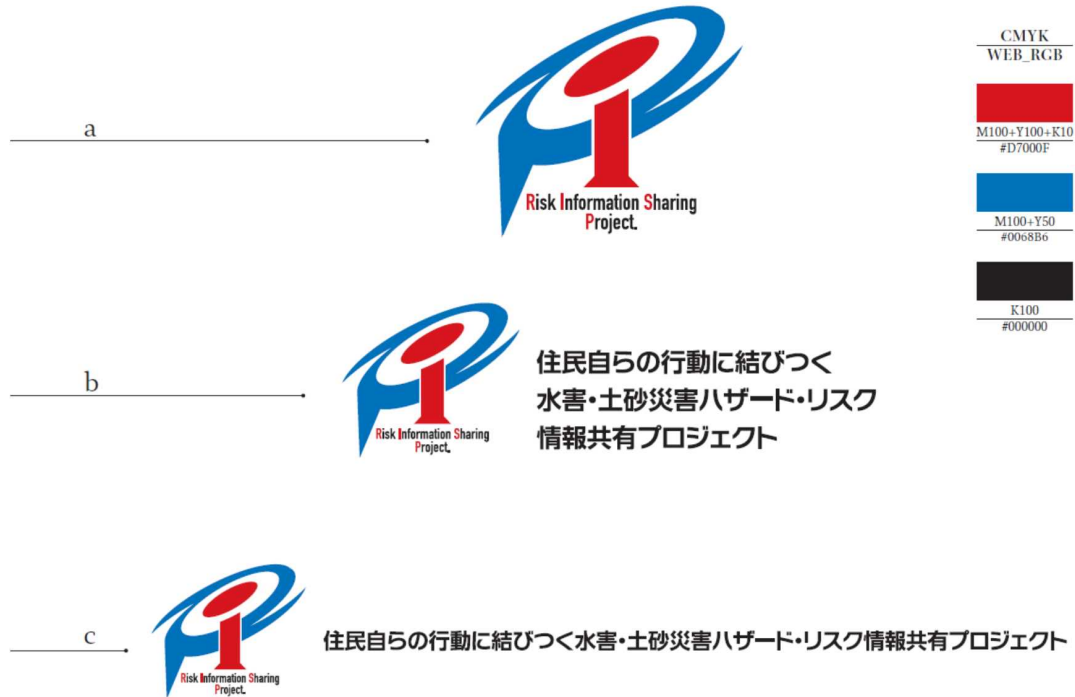


プロジェクト ロゴマークについて

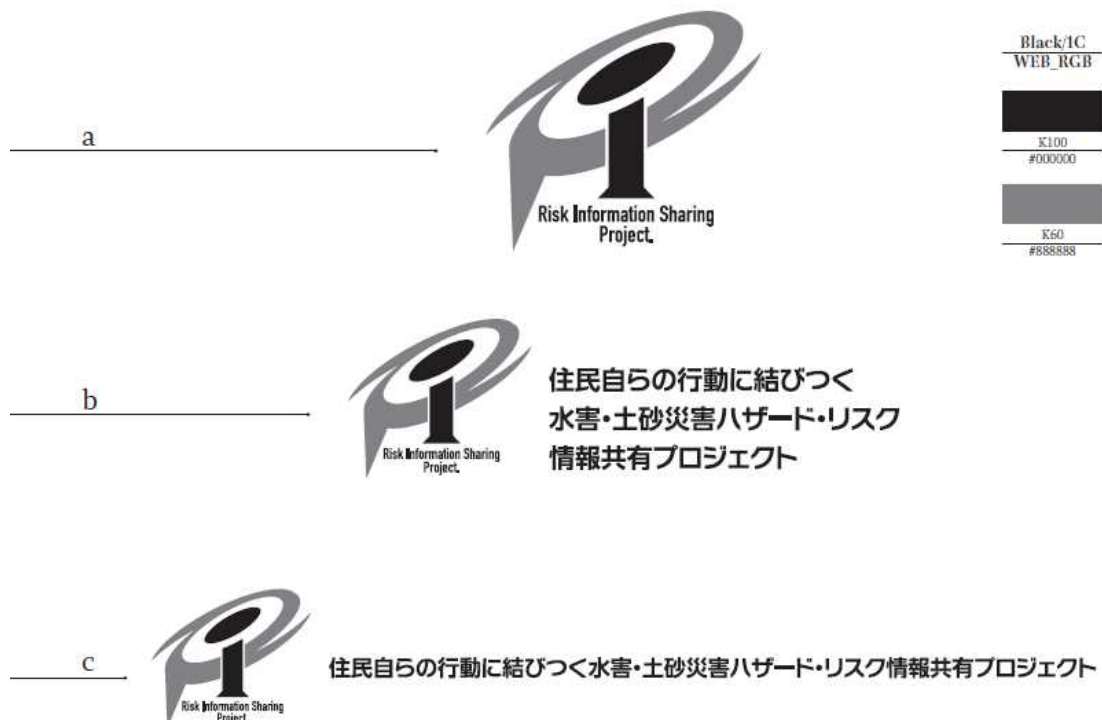
住民自らの行動に結びつく
水害・土砂災害ハザード・リスク
情報共有プロジェクト
第3回全体会議 資料1

本プロジェクトの取組の普及・促進を目的としてご使用下さい。使用にあたって、使用申請などは不要です。なお、データは、特設Webサイトにて配布しています。



1

プロジェクト ロゴマークについて



2

プロジェクト 特設Webサイトの開設について

「住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害ハザード・リスク情報共有プロジェクト」の特設Webサイトを開設。33施策の最新取組状況やお役立ちツールを紹介しています。



住民自らの行動に結びつく 水害・土砂災害ハザード・リスク 情報共有プロジェクト

国土交通省では、水害・土砂災害情報に住民の危機意識が結びつきにくいという課題を認識し、
行政メディアの関係者等が集まり、平成30年10月4日に
「住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害」ハザード・リスク情報共有プロジェクトを立ち上げました。

平成30年11月24日に開催した第7回全体会議の議決を経て、
災害情報の提供方法の改善点や参加関係者の新たな連携・協力による新たな情報提供方法の構築として、
6つのプロジェクトからなる33の連携策を平成30年12月1日よりまとめた、
プロジェクトレポートを公表しました。

今回は、逃げ遅れによる犠牲者がゼロを目指し、関係国等で連携をかりつつ、
連携策の実現、更なる拡充に取組んでいます。

<top>



岡山情報系をキャッチして
「逃げなきゃコール」で避難支援が呼びかけ



日本ケータイ大学による連携と
災害の対応、共した。

プロジェクト概要

プロジェクトレポート(本文PDF)
(平成30年12月11日 PDF:1.23MB)

6つのプロジェクト
60の施策の紹介

情報共有プロジェクト
のロゴマーク紹介

プロジェクトの検討経過



プロジェクト概要

6つのプロジェクト33施策一覧

A: 災害情報単純化プロジェクト

- ①水害・土砂災害情報統合ポータルサイト作成
- ②DMAPSIによる災害リスクデータを集約し最新情報・被害情報の一元表示
- ③一元的な情報伝達・共有のためのアプリ活用
- ④「ワンフレーズ」マルチキャストの推進
- ⑤災害情報(水害・土砂災害)用図・表規改善点社会協会の実施
- ⑥天気予報コーナー等での水害・土砂災害情報の平常時からの特種対応
- ⑦災害の初動状況に応じたシームレスな情報提供

B: 災害情報拡散とリスクアウト

- ⑧地質防災マップをウェブ上の普及促進 **<最近の執業>**
- ⑨水害リスクをウェブ上で地域住民の危険度情報の提供
- ⑩ダム下部のリスク情報の共有
- ⑪ダムの状況に関する分かりやすい情報提供
- ⑫天気予報コーナー等での地域における災害情報の平常時からの特種対応
- ⑬命ナビ、ラジオ、ネットメディアと連携した「タイムタイムライン」の普及促進
- ⑭マイページ ～一人一人が必要とする情報の提供へ～

<http://www.mlit.go.jp/river/risp/index.html>

二次元コード

